

資料 2－1

「令和8年度新・宮城の将来ビジョン推進事業(案)」及び「令和8年度復興・サポート事業(案)」の概要

事業数及び事業費一覧

(単位:件、百万円)

部局 区分	新・宮城の将来ビジョン推進事業						復興・サポート事業					
	計	柱1 富県宮城	柱2 子ども・子育て	柱3 誰もがいきいき	柱4 県土づくり	事業費	計	1 被災者支援	2 産業・なりわい 支援	3 原発事故 被害対応	4 伝承・その他	事業費
総務部	15	3	5	7	0	21,102	5	4	0	0	1	51
復興・危機管理部	7	0	0	0	7	96	13	4	0	1	8	260
企画部	37	13	2	22	0	3,004	2	0	0	0	2	8
環境生活部	53	4	0	14	35	10,147	7	2	0	5	0	32
保健福祉部	130	0	49	79	2	25,500	2	2	0	0	0	45
経渃商工観光部	126	111	1	12	2	113,306	9	0	9	0	0	10,462
農政部	85	67	0	0	18	15,365	8	0	0	7	1	187
水産林政部	44	22	0	2	20	6,638	10	0	4	4	2	666
土木部	42	14	1	2	25	29,659	2	0	0	1	1	9
出納局	1	0	0	1	0	66	0	0	0	0	0	0
企業局	7	0	0	0	7	10,283	0	0	0	0	0	0
教育庁	71	0	57	9	5	25,281	13	11	0	0	2	1,112
警察本部	12	1	0	9	2	2,008	0	0	0	0	0	0
事業数	630	235	115	157	123		71	23	13	18	17	
事業費		137,362	52,735	30,896	41,462	262,455		1,343	10,926	399	166	12,832

参考:令和7年度	計	柱1	柱2	柱3	柱4	事業費計	計	1	2	3	4	事業費計
事業数	577	212	101	144	120		104	37	24	22	21	
事業費		136,155	40,366	22,238	39,850	238,609		2,346	9,706	388	272	12,712

※事業費は四捨五入のため合計が一致しない場合がある。

令和8年度新・宮城の将来ビジョン推進事業 新規事業検討プロジェクトチーム検討結果

検討の方向性

現状・課題

若者、特に女性が首都圏に流出

- ・10代後半は進学で転入超過、20代前半は就職等で転出超過
- ・15～20歳代の若者は、主に東京圏へ流出
- ・20～24歳代女性は、男性の約1.4倍の転出超過

背景・要因

魅力ある職場がない、住みやすい地域になれていない

- ・若者が東京圏に転出する理由は「仕事」関係が多い
- ・転出者は、地元に固定的な性別役割分担意識を感じていた

検討テーマ

「若者・女性に魅力ある地域・職場づくり」

- ・魅力ある職場、働きやすい環境整備、アンコンシャスバイアスの解消などを中心に部局に検討を依頼

若手・女性職員の意見

各部局の若手・女性職員から、重点テーマについて寄せられた主な意見は、以下のとおり

若者定着について

- ・人材確保の視点だけではなく、若者の関心を引く、ユニークな職場が必要
- ・若者は「都会の華やかさ」に魅力を感じ、地方の「しがらみや閉塞感」を懸念
- ・様々な媒体からの情報で溢れしており、県事業が十分に若者に届いていない
- ・県内就職後の暮らしのイメージが魅力的に描けていない若者もいる

既存事業とは異なる取組が必要

- 生成AI活用モデル創出（事業①）
- 魅力ある企業の誘致・人材の集積（事業②）
- 情報発信手法の見直し、NW形成（事業③）
- 宮城で暮らす魅力の選及（事業④）

女性活躍について

- ・女性活躍のロールモデルが認識されていない
- ・農業法人が「働く先」として認識されていない
- ・建設業は「男性らしい」仕事という固定概念がある

既存事業の拡充が必要：女性が活躍できる環境整備（事業⑤）

事業概要 R8予算額 重点事業費107,410千円（一財34,245千円）

①保育施設生成AI活用推進事業（保健福祉部）

3,300千円（全額一財）

●生成AI活用モデルの創出

デジタル化が遅れている保育業界での生成AI活用による業務効率化を支援し、若者が働きなくなる魅力ある職場環境のモデル事業所を創出

②コスメ・健康関連産業集積促進事業（経済商工観光部）

23,000千円（一財8,300千円）

●魅力ある産業の誘致・人材の集積

首都圏に集中する、若者・女性が魅力を感じるコスメ関連産業等のクラスター化を目指し、地域の資源活用に向けた素材ツアーや、商品企画・開発支援などを実施

③みやぎ情報発信共創プラットフォーム事業（企画部）

22,000千円（一財15,990千円）

●若者向け情報発信手法の見直し、ネットワーク形成

- ・「情報発信」をテーマとしたワークショップの開催
- ・官民連携で宮城と若者をつなぐファンクラブを創設し、県内情報の発信やイベント開催を通じて関係人口の拡大を図る

⑤女性応援プロジェクト（環境生活部）

52,610千円（一財155千円）

●女性が活躍できる環境整備

- ・「アンコンシャス・バイアス」の払拭に向け、ワークショップや学生と企業の意見交換会を開催し、企業側の意識改革を促進
- ・えるぼし認定等の取得に向けた伴走支援や、職場環境の整備に向けた補助の予算を大幅に拡充し、女性の進出が進んでいない業種（一次産業・建設業）にも積極的にアプローチ

④森・海の魅力を活かした若者定着促進事業（水産林政部）

6,500千円（全額一財）

●宮城で暮らす魅力の訴求

県内の大学生を対象に、「森・海」のフィールドを活かした遊び場を企画し、暮らす魅力の面からアプローチすることで、県内定着の促進を図る